

市長と語る会(令和3年10月27日 東京外国語大学)における意見及び市長の回答

N	意見	担当	状況	理由等	参考(語る会当日の市長の回答)
1	高齢者が身近にデジタルツールを感じる事ができるように、市内の大國魂神社などの観光名所やお散歩コースなどにQRコードによる情報発信を行うと、日常生活の中でデジタルツールに親しんでもらうきっかけになると思う。	観光プロモーション課 ふるさと文化財課	実施済	(一社)モバイルスマートタウン推進財団と「インバウンド推進に関するパートナーシップ協定書」を取り交わし、同社が運営する多言語観光情報サイト「Guidoor(ガイドア)」にて、市内の各観光施設の紹介を行っているほか、令和元年度から、各施設においてGuidoorにリンクするQRコードを掲出しております。	日頃の買い物など、デジタルツールを活用することで様々なことが便利になっていると思います。 QRコードを活用した情報発信は、面白い取組で、例えば大國魂神社は1,900年の歴史があると言われてはいますが、意外と知られていないこともあると思うので、情報発信の方法として参考にさせていただきます。
2	マイナンバーカードの情報をスマートフォンに格納する機能が実現できると良いと思う。	情報戦略課	進行中	現在、国において対応を進めており、Androidについては、令和4年度中に開発完了し、令和5年4月以降にサービスインできることを目指しており、iosについては、対応時期が未定となっている状況です。	マイナンバーカードの電子化は、国として考える課題ですが、併せて、マイナンバーカードを使ったサービスが増えると良いと考えています。
3	防災行政無線での放送は、日本語のみでなく、英語での発信も考えてほしい。 また、新しい住民は、愛の鐘の意味が分からない場合があるので、言葉で説明するのも良いと思う。	防災危機管理課	進行中	防災行政無線の放送が長くなりますと聞き取りにくくなることから、放送内容につきましては府中市ホームページで公表しており、外国語版でも確認することができますが、引き続き、外国人にもより分かりやすい情報発信について検討してまいりたいと考えております。	近隣市でも夕方に帰宅を促す放送を行っていますが、時々、夕方の放送を言葉で説明したり、英語で放送するなど様々な放送方法を検討していきたいと思います。
4	多言語対応を考える時は、全てを多言語翻訳することは時間と労力がかかるため、やさしい日本語での表記が費用対効果が高く、また、ピクトグラムを活用することも重要だと思う。	多様性社会推進課	進行中	府中国際交流サロン、東京外国語大学との協働で、外国人市民向けの生活便利帳をやさしい日本語で作成しています。各課での情報発信にも生かせるよう、職員向けのやさしい日本語研修等を検討しています。	オリンピック・パラリンピックの際にピクトグラムの有用性を強く感じました。今後、新型コロナウイルスが終息し、多くの外国人の方が本市を訪れていただける状況になった際は、導入を検討していきたいと思えます。
5	押印廃止の取組が必要だと感じていますが、進捗状況はどうか。	行政経営課	進行中	本市では、書面主義、押印主義、対面主義に関する規則・制度の見直しを行い、行政手続の簡素化及び行政手続のデジタル化を推進することを目的として、申請書等における押印廃止の取組を進めてきました。今後もこの取組を推進し、押印廃止に伴う法令の改正にも対応しながら、順次、申請書等への押印を廃止していきます。	安価で判子を購入できるようになっていることから、押印を省略できるものは積極的に廃止するよう取り組んでいます。 しかし、日本の印鑑登録制度は、良い制度だと思っています。外国では、印鑑登録制度が無く、大使館に行ってサイン証明を取得したり、公証役場で証人の見ている前でサインする必要がある国があるため、日本の判子文化の全てを否定するものではなく、簡略化できるものと必要なものを見極めることが必要だと思います。

市長と語る会(令和3年10月28日 東京農工大学)における意見及び市長の回答

N	意見	担当	状況	理由等	参考(語る会当日の市長の回答)
1	国民健康保険の加入手続きのために市役所を訪ねたが、氏名、住所、マイナンバー等を記載し、押印して提出しただけだった。マイナンバーカードを利用した電子申請が出来るようにしていただきたい。	情報戦略課	進行中	オンラインによる行政手続きを迅速に推進するため、去る令和4年9月に府中市情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例を上程し、可決・成立しました。 今後、様々な行政手続きのオンライン化を積極的に推進し、市民の皆様への利便性向上及び職員の業務効率化を図ってまいります。 このような取組の中で、国民健康保険の加入手続きのオンライン化についても、検討してまいります。	マイナンバーカードを利用できる行政手続きについては、自治体による差異は少ないと思います。また、税関係の事務では、マイナンバーを活用した事務が進んでいますが、それ以外の分野でも利用が進み、マイナンバーカードを持つことの利便性がより高まることを望んでいます。なお、押印については、押印廃止の取組を進めているところです。
2	申請書をもらうために市役所を訪ねる必要がないよう、申請書を市ホームページに必ず掲載していただきたい。	情報戦略課	進行中	各種申請書につきましては、基本的にはホームページに掲載されていると認識しています。今後は、申請書をホームページに掲載するに留まらず、オンライン申請が可能な手続きを積極的に増やすよう取り組んでまいります。	本市でも多くの手続きで様式をホームページに掲載していますが、より多くの手続きの様式を掲載できるよう働きかけたい。
3	市のホームページについて、見たいコンテンツを探すことが難しいため、より見やすいホームページの作成をしていただきたい。興味のある情報を登録したり、マイページのような機能を実装すると良いと思う。	秘書広報課	実施予定	令和5年5月のリニューアルに向けて作業を進めています。	確かに、見たいページが深い階層に掲載されていたり、情報量が多くて、探しにくいことがあります。また、若い世代の方は、問合せなどで電話をかける機会が減っていると聞いていますので、ホームページの内容の充実を図っていきたくと考えています。  (広報課長) 他の市民の方からも見たいコンテンツが探しにくいとの苦情を多くいただいております。現在、ホームページのリニューアルを検討しています。
4	外国人が行政手続きをする際に、より分かりやすいようにホームページや窓口の多言語対応を進めてほしい。	多様性社会推進課	進行中	東京都つながり創生財団において多言語電話通訳サービスを行っているため、庁内での周知を図ります。また、府中市多文化共生センターDIVEにおいて行政情報等を多言語で案内するホームページの開設を計画しています。	英語、中国語、韓国語などに加え、文字表記が異なるベトナム語など、様々な言語があり、全てに対応することは出来ていないと思います。  (広報課長) 窓口対応では、職員が通訳や代筆などを行い、適宜対応していると思っております。
5	市内の公園樹木の材積に関する情報について、GISの座標を含めオープンデータとして公表していただけると、炭素蓄積量を大学などで調べ、府中市に還元できると思っていますので、対応を検討してほしい。	公園緑地課	実施済	樹木の状況についての調査結果をウェブ上に公開いたしました。	市内には、東京農工大学や地図に関する研究を行っている企業もあり、民間の皆様との連携によって、ゼロカーボン社会の実現に向けて取り組んでいきたいと考えており、併せて、様々なデータを公開していくことが重要だと考えております。
6	生理の貧困に対する対策として、スマートフォンアプリを利用して、トイレに設置した機器にスマホをかざすと、生理用品を入手できる仕組みを導入した事例が報道されており、良い取組だと思う反面、スマホを所有していない方もいらっしゃることを踏まえた対応も必要だと思う。	多様性社会推進課	進行中	現在、スマートフォンを使用しての生理用ナプキンの配布は行っていませんが、男女共同参画センター「フチャール」及び子育て支援センターたちの受付にて、無償でお渡しをしています。	生理の貧困の問題については、フードドライブやフードパントリーなどと併せて充実を図ってまいりたいと考えております。また、ご紹介いただいたスマホアプリについても把握しており、このような先進事例を参考にしていきたい。
7	コミュニケーションツールとして、電話の利用機会が減っていると思いますので、LINEを活用した情報発信を検討してほしい。	行政経営課	進行中	令和4年6月に府中市LINE公式アカウントを開設し、主に子育て世代を対象とした講座等の予約を中心に運用を始めています。情報発信についても開始できるよう検討を進めています。	LINEの活用の検討は、先般、個人情報の問題が発覚したことで実現に至っていないところですが、セキュリティ対策の検討状況に注視しつつ、導入に向けて検討を続けていきたい。
8	ルミエール府中や府中の森芸術劇場を利用することがありますが、施設予約システムはありますが、予約に際しては、窓口でないと予約できないので、WEB予約に対応してほしい。	文化生涯学習課	一部進行中	ルミエール府中内の市民会館では、コンベンションホール以外の諸室については、既にWEB予約に対応しておりますが、コンベンションホールについては、予約前に施設の利用案内を行い、利用条件等を確認する必要がありますことから、WEB予約の対応はしていません。 また、府中の森芸術劇場におきましても、施設の利用案内を行い、利用条件等を確認する必要がありますことから、WEB予約の対応はしていませんが、練習室等については、今後、WEB予約の対応が可能か検討してまいります。	運用方法を確認して、改善できるように努めてまいります。

市長と語る会(令和3年11月2日 明星高等学校)における意見及び市長の回答

N	意見	担当	状況	理由等	参考(語る会当日の市長の回答)
1	市のホームページに様々な手続きの申請書をダウンロードできるように掲載してほしい。 市役所の窓口では、待ち時間をスマートフォンに表示するツールなどを導入すると、混雑緩和につながったり、市民の皆様が効率的に時間を使うことができると思う。	情報戦略課	進行中	各種申請書につきましては、基本的にはホームページに掲載されていると認識しています。今後は、申請書をホームページに掲載するに留まらず、オンライン申請が可能な手続きを積極的に増やすよう取り組んでまいります。	同様の意見を他の場でもいただきました。病院などでは、待ち時間が分かるようなシステムが導入されていたり、取り入れることができそうなツールが開発されていますので、職員の業務効率化の観点からも検討していきたい。
2	市のホームページは、情報量が多く、充実している一方、YouTubeなどの動画サービスを利用する方も増えていることから、情報を伝える手段として、動画を積極的に活用することで、更に充実したホームページになると思う。	秘書広報課	一部実施済	市のホームページは、コンテンツ内に動画を埋め込めるようになっており、一部のコンテンツでは動画を掲載しております。	動画は、伝えることができる情報量が文字や写真に比べ多いと思いますので、今後、より取り入れられるようにしていきたい。例えば、台風が接近してきている時などの災害が迫っている時などの活用も検討していきたい。
3	市長の公務日程を拝見しましたが、文字が多く、公務の様子をイメージしにくいので、市長の公務の様子を動画で公開すると、市政に関心を持つ市民が増えると思う。	秘書広報課	検討中	動画及び静止画等の掲載については、公務日誌の分かりやすさ及び公務の様子が窺い知れることから開かれた市政の一步になると認識しております。その中で、動画や静止画の配信につきましては、その画像に移る内容や先方の許可等が必要になってくることから一定の基準等を設ける必要があり、今後、研究してまいります。	私の公務の様子を動画にすることで、市長の仕事が皆様により理解していただけるのであれば嬉しく思うし、私の仕事のスキルアップや市民の皆様暮らしやすさの向上につながるのであれば、取り入れていきたいと思う。 一方、公職選挙法についても確認が必要だと思います。
4	市のホームページは、情報量が多すぎるため、見たいコンテンツを表示するまでに時間を要することから、見る気力が損なわれてしまうと思います。	秘書広報課	実施予定	令和5年5月のリニューアルに向けて作業を進めており、視認性・検索性の向上を図ります。	同様のご意見を他の方からもいただいています。市民の皆様が知りたい情報は千差万別であるため、情報量が増えてしまっておりますが、閲覧しやすいホームページの構成は考えていかなければならない課題として認識しております。
5	中学生や高校生からボランティアを募り、高齢の方など、デジタル化に対応することが難しい方のために、講習会を実施するなど、支援体制を整えてほしい。サポート体制があることでスマートフォンを新たに使う人も増えると思う。	地域コミュニティ課 地域福祉推進課 高齢者支援課	一部実施済	高齢者への支援につきましては、令和3年度より、各地域包括支援センターや介護予防推進センターにおいて、スマートフォンの使い方などを学ぶ講座を開始しました。そのほかに、高齢者自身がアプリケーションを活用して継続的に介護予防に取り組む取組を開始し、高齢者の心身の健康の維持とともに、高齢者がデジタル機器に接する機会の拡大を図っています。今後も講座や取組を継続するとともに、更なる支援の充実に努め、デジタル化への対応を支援していきます。 また、一部のわがまち支えあい協議会では、高齢者向けのスマホ教室など、デジタル化へのサポート活動を行っております。 令和5年度から各文化センターにおきまして、LINE講習会を実施する予定です。なお、その際に中学生や高校生からボランティアを募ることは、現状では予定しておりません。	スマートフォンを使った経験の無い方でも慣れていただければ、便利に使うことができる方も多いと思います。市内の文化センターには、高齢者の方が集まるサロンなどの地域のつながりがあるため、このような場所でスマートフォンの講習会を実施しても良いと思う。
6	市の公式SNSアカウントの存在を知らない方もいると思いますので、市のホームページに公式SNSをPRするコンテンツを作ると良いと思います。 また、市のホームページは、緑色が強いと思うので、見やすさに配慮してほしい。	秘書広報課	実施予定	令和5年5月のリニューアルに向けて作業を進めており、視認性・検索性の向上を図ります。	市のホームページには、SNSアカウントを取りまとめて紹介するコンテンツが無いので、作成してPRしていきたい。 市のホームページは緑を基調としていますが、濃淡は検討していきたい。
7	清瀬市では、駅の施設に、市のホームページにつながるQRコードが掲示されていたり、特徴的なお店には、市のInstagramにつながるQRコードが掲示されていますので、府中市も実施すると、SNSで情報発信していることを知っていただくこともできると思うし、利用者も増えると思う。	秘書広報課 観光プロモーション課	一部実施済	観光プロモーション課が運用するInstagramアカウントにリンクするQRコードを掲載したチラシを市内各所で配布しておりますが、さらなる認知度向上のために、ご提案をいただいた店舗等への掲示は有効な手段であると思われるので、今後、前向きに検討してまいりたいと考えております。	他市の事例を調べて、参考にさせていただきます。
8	バスケットゴールが設置されている公園を訪れると、年代が異なる方が利用されていて、仲間に入れてもらうことを躊躇してしまうことがあるため、普段、どのような年齢層の方が利用されている公園であるか可視化すると、利用者の利便性が向上し、同年代のコミュニケーションも図られると思う。	公園緑地課	進行中	公園の利用者による情報発信や、情報の共有については、具体的な方法を検討してまいります。	公園は、年齢などで分け隔てることなく、どなたでもご利用いただくことができる場所ですが、公園で出会った方々をつなぐ方策については、研究していきたいと思っています。

市長と語る会(令和3年11月2日 明星高等学校)における意見及び市長の回答

N	意見	担当	状況	理由等	参考(語る会当日の市長の回答)
9	市内のお店や美容院など、段差等により車椅子で入ることが難しい場合があるため、バリアフリー対応している店舗等を可視化するツールがあると、市民の暮らしやすさの向上につながると思う。	産業振興課 地域福祉推進課	一部実施済	本市では、市内一部店舗のバリアフリー情報を掲載した「むさし府中バリアフリーマップ」を作成し、配布しております。また、都内の施設別バリアフリー情報を公開している、東京都の「とうきょうユニバーサルデザインナビ」について、府中市ホームページで周知を図るなど、様々な情報発信に努めているところです。	障害などで移動に困難を伴う方にとって、生活しやすい環境づくりにつながる非常に重要な取組だと思います。市として、バリアフリーに対応できていない場所のご連絡をいただき対応することもあります。受け身ではなく、市内の状況を発信できる取組について研究していきたい。
10	例えば、郷土の森博物館のような市内の魅力のある施設について、市外の方の認知度は高くないと思うため、市として市外の方向けのPRに力を入れてほしい。	観光プロモーション課 ふるさと文化財課	実施済	郷土の森博物館には、市外の来館者が、常時6割以上来館していただいておりますが、今後も継続して、京王線全駅へのポスター掲示や、テレビ局へのPRなどを行い、市外来館者増に向け取り組んでまいります。 また、本市では、InstagramやYouTubeを活用し、四季折々の魅力を発信しているところではございますが、ターゲット層に向けた効果的なPR方法については市としても試行錯誤しながら調査・研究を行っており、より効果的な方法を今後も検討していきたいと考えております。	郷土の森公園は、市の歴史・文化を発信する施設であり、梅の時期には、テレビ局で取り上げていただくこともあり、市内外に誇れる施設だと思っています。市内の魅力ある施設等について、世界に発信するよう取り組んでいきたい。
11	国分寺市や府中市には、史跡が多く残っており、実際に訪れると、石碑などの史跡の解説が掲示されていますが、日本語のみで、漢字も多く、外国人には分からないと思われるため、QRコードを掲示し、スマートフォンをかざすと多言語翻訳されるような仕組みを備えると、コロナ禍が終息した際は、来訪者も増えると思う。	観光プロモーション課 ふるさと文化財課	実施済	令和元年度に、8言語対応の観光情報のQRコードを当該施設に設置しました。QRコードは様々な所で活用されておりますので、今後も、国分寺・府中観光振興連絡協議会を活用しながら、QRコード等により、外国人に対応した史跡等のPRに努めてまいります。 また、本市では、令和元年度に(一社)モバイルスマートタウン推進財団と「インバウンド推進に関するパートナーシップ協定書」を取り交わし、同社が運営する多言語観光情報サイト「Guidoor(ガイドア)」にて、市内の各観光施設の紹介を行っているほか、各施設においてはGuidoorにリンクするQRコードを掲出しております。なお、当該サイトは日本語を含むに12言語に対応しております。 国分寺市と府中市及び両市の観光協会で構成する「国分寺・府中観光振興連絡協議会」では、観光アプリ「ぶらり国・府」で名所・旧跡を紹介しており、アプリ内では史跡の解説も掲載しています。現在、日本語のほか、中国語(簡体字・繁体字)、韓国語版もリリースしていますが、アプリのPRに課題があるのが現状ですので、QRコードでの紹介を含め今後検討してまいります。 ご提案をいただいた石碑につきましては、それぞれ管理者が異なるほか、掲示環境など、個別に調査を行う必要があるものと考えております。	国分寺市と府中市には、史跡が多く残っており、観光連絡協議会を設け、共に連携してPRを行っています。確かに史跡の解説は日本語であるため、QRコードをスマホにかざすと翻訳できるような機能をご用意できるよう国分寺市とも相談して取り組んでいきたい。
12	府中駅前には、フリーWi-Fiが整備されていますが、場所によっては、速度が遅いため、点検してほしい。	情報戦略課	進行中	府中駅周辺に整備されているFuchuCityFreeWi-Fiにつきましては、契約先である事業者が死活監視を実施しております。ご指摘の速度が出ていない箇所につきましては場所を特定し調査を進めてまいります。今年度にはセキュリティの強化に伴う更新も実施しており安全かつ使い勝手のよいサービスになるよう進めてまいります。	ラグビーワールドカップやオリンピック・パラリンピックを迎えるに当たり、府中駅前にWi-Fiを整備しました。整備後、数年が経過していますので、改めて、速度やカバーエリアを確認します。
13	SNSを活用した市のPRについて、有名人などのインフルエンサーの方に協力してもらうことで、効果的なPRができると思う。	観光プロモーション課	一部実施済	SNS上でのインフルエンサーの協力については、費用対効果など検討していきたいと考えております。	本市では、市に所縁のあるタレントや歌手、漫画家などの方々に、観光大使として市のPRをお願いさせていただいておりますので、SNSでの発信にもご協力いただくことも考えていきたい。
14	走行する車に次に通過予定の信号機の状況を表示させる「信号情報活用運転支援システム(TSPS)」は、不要な加速等を防ぎ、エコドライブによるCO2削減に役立つため、市内の信号機に積極的に導入してほしい。	地域安全対策課	実施済	府中警察署に確認をしたところ、市内の主要幹線道路(甲州街道、府中街道、新府中街道、東八道路等)には、光ビーコンが設置され、信号情報活用運転支援システム(TSPS)も導入されており、既設の設備の適正な運用を第一とした上で、効果的な活用を図りますとの回答がありました。	交通渋滞の抑制や交通事故の防止、環境改善などに資する仕組みであるため、府中警察署にもご提案を伝え、導入するチャンスがあれば、積極的に取り組んでいきたい。